

令和5年度 亀齢荘事業報告

1. 運営の状況

法人全体で感染対策に取り組んだ結果、サービス利用を制限した時期はありましたが、概ね年度を通し継続的なサービス提供を実施することができました。家族面会や交流については、外部からの感染経路の遮断という観点と、利用者のQOL（生活の質）に与える影響を考慮しバランスをとりながら個別の対応を実施し、利用者及び利用者家族とのコミュニケーションの構築を図ってまいりました。今年度はコロナ禍で見合わせていた亀齢荘秋まつりや徳風園夏まつり等の開催にむけて、対策を練り、少しずつ幼稚園・保育園・近隣住民との交流に取り組んでまいります。また令和5年9月いわき市内を襲った集中豪雨による水害や、令和6年元旦北陸地方を中心に起きた地震等の自然災害など、自然の猛威を再認識する年度ともなりました。各事業所では特に影響なくサービス提供することができましたが、引き続き自然災害を想定した訓練や必要品の備えなど有事に対応できる態勢を整え、安心して利用できる事業所運営に取り組んでまいります。

さて収支については、事業所ごとにばらつきはありましたが安定したサービス提供ができた結果、全体として収益を確保することができました。しかしながら、老朽化しつつある施設の改修や、水道光熱費・資材・食材の断続的な物価高騰など、取り巻く環境は年々厳しいものとなっております。経費節減を意識しつつ良質なサービス提供を実施し、利用者及び利用者家族に満足いくサービス提供ができるよう、引き続き事業運営に取り組んでまいります。

最後に、令和6年度介護報酬改定で「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」の指針が示されましたが、職員一丸となって各項目に取り組み、地域に信頼される施設運営を目指してまいります。

2. 各事業所の状況

(1) 特別養護老人ホーム亀齢荘

感染症法上の分類が引き下げられたコロナウイルス感染症ですが、職員の感染や利用者からの発生を避けるため、継続的な感染対策に取り組んだ結果、集団感染を防ぐことができました。しかしながら令和5年度稼働率は対前年比2.0%減少となりました。体調不良者や入退院を繰り返す入所者が多数散見したことが主な原因でありました。入所状況は、ほぼ満床に近い状態で推移していましたが、入所者平均年齢が85歳を超え、入所者平均介護度が4.5と高水準であることから、入所者の体調管理に苦慮することが多くなってまいります。今年度も引き続き、多職種協同し、利用者の体調変化の早期発見並びにその対応の強化を図り、安心安全なサービスの提供に努めてまいります。

① 入所者の入所状況（90床）

年 度	利用延人数（年間）	1日当り平均利用人数	稼働率（%）
4年度	30,284人	83.0人	92.2
5年度	29,718人	81.2人	90.2

② 入所待機者の状況

待機場所	在 宅	介護老人保健施設	病 院	その他	合 計
人 員	37人	2人	14人	22人	75人

R6. 3. 31現在

(2) 亀齢荘ショートステイ

感染症による影響から利用制限を実施した時期はありましたが、細心の注意を払いサービス提供を実施したことで、1日あたり平均利用人数が7.2人と多くの利用者にサービス提供をすることができました。引き続き利用区域内の感染症の動向に留意し、感染症がまん延した時の利用者受入体制の整備を整え、地域住民に安心して利用していただける施設運営を行い、利用者増に努めてまいります。

年 度	利用延人数	1日当り平均利用人数	稼働率（%）
4年度	2,588人	7.1人（10床）	70.9
5年度	2,650人	7.2人（10床）	72.4

(3) ケアハウス恕宥荘

年間を通し満床に近い状態で推移することができました。しかしながら入居者の高齢化に伴う自立生活のレベル低下が見受けられつつあるので、個別のニーズに沿ったサポートに努めてまいります。また入居者の施設への要望も多様化しておりますが、入居者第一主義を徹底し、自主性の尊厳を大切に心の通った施設づくりに努めてまいります。

(入居者内訳 20名定員)

R6. 3. 31現在

年 度	地 域	人数	地 域	人数	合計	性別	人数	性別	人数
4年度	いわき市内	18人	いわき市外	1人	19人	男性	6人	女性	13人
5年度	〃	18人	〃	1人	19人	〃	6人	〃	13人

(待機者内訳)

年 度	地 域	人数	地 域	人数
4年度	いわき市内	5人	いわき市外	0人
5年度	〃	10人	〃	0人

(4) 亀齢荘デイサービスセンター

利用者に寄り添いお一人おひとりに適したサービス提供に努めた結果、利用者から感謝や満足の言葉をいただきました。しかしながら長引く感染症の影響で、職員及び利用者から感染者が発生し、それに伴い利用制限を行ったこと、また利用者のサービス利用控えや新たな利用者の獲得ができなかったことなどから利用人数の減少となりました。引き続き感染症対策を行いながら、各居宅介護支援事業所と連携・情報の強化を図り、また新たな利用者確保に努め、地域に信頼される事業所づくりに努めてまいります。

年 度	類 型	年間利用人数	一日平均利用人数
4年度	標準型	4,672人	15.5人
5年度	標準型	4,384人	14.2人

(5) 亀齢荘ホームヘルプサービスセンター

上半期は新規利用者の獲得で利用人数が増加につながりましたが、下半期は利用者の施設入所や入院、コロナ感染症等による利用控えもあり、年間の利用回数は微増にとどまりました。ヘルパー職員の高齢化、担い手不足と課題はありますが、多様化する利用者のサービス提供に応え、きめ細やかなサービス提供に取り組み、今年度も各居宅介護支援事業所と連携を密に図り、利用者増に努めてまいります。

年 度	訪問介護 (月平均)	総合事業 (月平均)	合 計 (月平均)
4年度	622人 (52人)	287人 (24人)	909人 (76人)
	6,814回 (568回)	1,692回 (141回)	8,506人 (709回)
5年度	648人 (54人)	252人 (21人)	900人 (75人)
	7,160回 (597回)	1,459回 (122回)	8,619回 (718回)

配食サービスは利用件数が減少しました。施設入所者や入院など原因はありますが、引き続き充実した食事内容を提供し、多くの利用者届けられるよう居宅介護支援事業所と連携を図り、地域に役立つサービスを実施してまいります。

年 度	延べ配食件数	月配食件数
4年度	2,955	246
5年度	2,484	207

(6) 亀齢荘居宅介護支援事業所

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類が引き下げられ平常対応となり、サービス利用の再開や新規サービス者の獲得など、利用者の確保に努めました。高齢化社会に伴う計画の多様化・困難事例が増加しておりますが、今後も介護支援専門員としての資質向上、専門的知識を高め公正中立な立場を心掛け、地域の相談窓口として役割を遂行してまいります。

年 度	ケアプラン月平均
4年度	117件 (予防24件含む)
5年度	116件 (予防24件含む)